

# 日本の凧の会 大阪

## 凧だより



2019. 8. 30 No 2019-9



### 凧 日 程

9月8日(日) 日本の凧の会大阪 9月凧揚げ例会(担当田渕)

時間 午後1:00～ (雨天順延)

場所 淀川河川敷 太間地区

9月19日(木) 日本の凧の会大阪 9月木曜凧揚げ例会(担当田渕)

時間 午後1:00～

場所 淀川河川敷 太間地区

### 凧道場の案内

#### 令和元年凧道場『古代紙鳶を作ろう』

日時 9月29日(日) 午後1:00～

場所 住之江会館

講師 木村代表

参加費 ¥500の予定(当日徴収)

申込は、9月19日までに木村代表まで、末尾の申込用紙で、FAXか手紙で申し込んでください。

- 1、参考品を見てもらって、別紙のように作り方を説明しますが、大きさなどは骨材と相談の上で好きに作ってもらおうと無責任なことを考えています。方眼模造紙、竹骨や紙はある程度の準備をします。和紙は持参いただけると助かります。(こだわりがある方は骨、糸なども持参ください)
- 2、残された絵本などから凧を再現してみる面白さや楽しさを味わってください。そのため、前振りの話がながーく迷走することもあります。ご迷惑ですが、お付き合いください。
- 3、1回で完結。絵、彩色などは宿題の予定。予想もしない発展形の登場などを期待しています。
- 4、竹骨を削る作業が主になりますので使いよいナイフを用意ください。60 cm くらいの直定規、鉛筆、接着剤、目打ちなど道具を持参ください。持ち帰り用の凧バッグかビニール袋なども。
- 5、参加はFAX、ハガキ、封書などで木村まで申し込みください。9月19日(木)の木曜会での手渡しを最終の締め切りとします。参加費は当日徴収します。

10月13日(日) 日本の凧の会大阪 10月凧揚げ例会(担当 辻)

時間 午後1:00～ (雨天順延)

場所 淀川河川敷 太間地区

10月24日(木) 日本の凧の会大阪 10月木曜凧揚げ例会(担当 辻)

時間 午後1:00～

場所 淀川河川敷 太間地区



**凧揚げ大会のご案内**

凧揚げ大会の案内をいただいております(詳細は、坂井さんまで)

**第20回全国凧あげ能登大会**

日程 10月19日(土)～20日(日)

場所 能登町柳田植物公園 お祭り広場

**第14回全国凧あげ大会 IN 見島**

日程 10月19日(土)～20日(日)

場所 山口県見島 ダム公園・八町八反



**報 告**

8月11日 日本の凧の会大阪 8月日曜凧揚げ例会

午後1:00～ 淀川河川公園太間地区

坂井、木村、山下、横山、辻、崎濱、近藤、梶、大矢、濱中ファミリー、田淵、安宅、田上さん、荒平さん、井上さん

今日の最高気温は37度という猛暑の中、熱中症に気を付けながらの凧揚げである。開始早々の時間は、風が、時折、弱く吹いたり止まったりで、梶さんの微風用大島凧や横山さんのちどり絵柄の小角凧の出番であったが、暫らくすると良い風が吹き始めました。

風が出ると各自自慢の凧が揚げられます。濱中さんのいつもの連凧、ハタ、六角凧、田原風凧、五十崎、韓国凧、風袋ダルマ、土佐凧、タンデムボックスカイト、ふとん凧、はたまた唸りを背負った角凧まで揚げ、一気に賑やかな空となりました。

暑いなかでの凧揚げに、何時も濱中夫妻が準備してくださる冷たい飲み物とキンキンに冷えたおしぼりで、暑いなかでも何回も「生き返るわ!」の声がしていました。

風が良いので3時になっても帰ろうとする人がいなくて、結局、4時前お開き

となりました。良い風だったので、暑さにめげず満足な一日でした。

(報告 花野さん)

## 8月22日 日本の風の会大阪 8月木曜風揚げ例会

午後1:00～ 淀川河川敷太間地区

濱中、崎濱、大矢、上田、近藤、辻、花野、木村、梶、横山、山下、  
荒平さん、井上さん

今日の最高気温は34度だそうです。暑いですが、夏には珍しくいい風が吹きました。で、空は満開の風、六角風、田原風風、大中小の角風、ハッピー風、二つ扇、各種のバラモン、吹き流し風、ふとん風に連風、中にはイカ型の風で「イカでっか、タコでっか」と少しおふぎけの風などが次々と揚がり、賑やかな空に加えて、心地よい音もビーンビーン、ブーンブーンと久しぶりのうなりの競演です。「今日はいいい風だな！」の声と何時もの冷たいおしぼりで「生き返るわ！」の声が楽しそうでした。

3時過ぎ、風揚げも一段落し、満足の内にお開きとしました。

(報告 花野さん)



### **お知らせ**

#### 竹骨購入の案内

3mm×2mm×210cm と 3mm×1.5mm×210cm の竹骨をウインドラブより購入予定です。

入り用の方は、100本単位で坂井まで申し込んで下さい。以前小型バラモンに使った竹骨です。

#### 本部のホームページアドレス等、変更になりました。

新しいホームページは、

<http://www.jkakite.com/> <<http://www.jkakite.com/>> と、なります。

事務局のメールアドレスは、

[tako@jkakite.com](mailto:tako@jkakite.com) <<mailto:tako@jkakite.com>> と、なります。

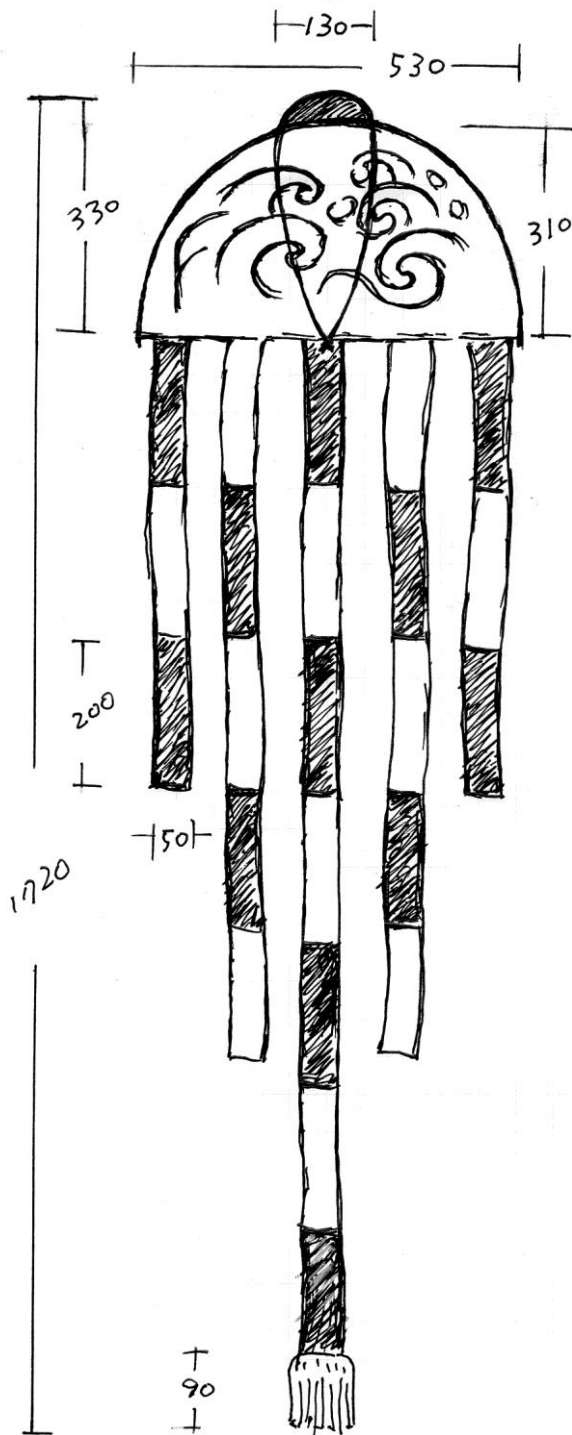
#### 日本の風の会大阪 ホームページ

毎月2回以上張り切って更新しています。さりげなく皆さんの活躍風揚げを掲載していますのでご覧下さい。8月風揚げ例会、8月木曜風揚げ会を新UPしています。スマホからもご覧いただけます。又、UPご希望の写真、記事がありましたら坂井さんまでお知らせ下さい

<http://takonokaiosaka.com/>

日本の凧で形が判明している一番古い凧

## 古代紙鳶（イカ・タコ・ハタ）の作り方



我が国の百科事典の始めともいうべき『和漢三才図会』（1713）や、古くは『京童跡追』（1667）などの上方の出版物に掲載されている凧。

この凧を再現して、過ぎ去った昔のように大阪の空に揚げてみませんか。骨はたったの2本。

よく揚がる美しい凧です。

1、弓月骨の長さは約 900 mm。

方眼紙の上に製図し、それを目安にして竹を削る。左右の先に向かって順に細くして糸を張る。

中央のツユ形骨は幅 2 mm 厚さ 1 mm ほどで、長さは約 780 mm。先を割り交互に組み合わせて形を整える。

2、和紙に中骨を張り、重ねて弓月を張る。交点に隙ができるので 15mm くらいの糊代をとり、骨を巻き込んで仕上げる。中骨の交点と横糸を結ぶ。下辺の紙は 10 mm の糊代で、横糸を巻き込んで張り合わす。（ここは、何度か点検をしながら慎重に作業をしたいところ。弓に糸を張る時は「巻結び」にして微調整ができるように結んでおくとう便利です）

3、緒は一本で塗り分けてもいいが、赤白の紙を交互に貼り付けて作る。幅 50 mm、赤の長さ 200 mm、白は糊代を見て 210 mm。追加して長バージョンも可能。房は 3 回巻きで切り込みを入れて作る。

4、糸目は骨の交点のところ 3 箇所。中心は上から 120 mm を目安に。

5、絵は『絵本大和童』（1728 頃）を参考にしましたが、真白なのが古式のように。

6、裏に反りをつけません。風が弱くなると「つんのめり現象」が起きます。何処かに結びつけていたりすると、いつの間にか落ちて、川に流にされていたりします。失敗が楽しい。